

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	合同会社 恵
代表者	渡邊 典子
事業所名	小規模多機能型介護 緑の恵
管理者	阿部 博樹
実施日	令和 6 年 2 月 16 日
報告日	令和 6 年 4 月 19 日

法人・事業所の特徴

- ・利用者様の気持ちに寄り添い、利用者様の尊厳ある生活を支援しています。
- ・安心安全を提供し、住み慣れた地域の中でその人らしく生活が継続出来るようお手伝いさせていただいております。
- ・ご家族様や地域の皆様とのつながりを大切にし、皆様から信頼される事業所であることを心掛けております。

実施日の出席者	苫小牧市職員	地域包括支援センター職員	町内会役員	民生委員	利用者家族	その他	事業所職員	合計
	1 人	1 人	2 人	1 人	2 人	1 人	8 人	16 人

前回の目標	取組み内容
介護のスキルアップを目指し、業務の効率化を図る。	①ミーティングや会議等を通して職員相互の意見交換を行う。 ②ケース会議を行い利用者個々の特性や状態の共通理解を図り適切なケアに努める ③年間研修計画の下介護に携わる職員が介護の知識・技術を身に付ける機会を持つ ④虐待防止内部研修を行う。
感染症や防災に関する知識や対応法を身に付け非常時に備える。	①防災訓練を行う。（年2回） ②保健所や関係機関等が行う感染症対策研修会に参加する。 ③自治体や関係機関等が行う防災研修会に参加する。 ④非常時災害対応マニュアルを備え内部研修会を行う。
	上記の取組み期間を令和5年4月1日～令和6年3月31日までとする。
今回の目標	取組み内容(予定)
災害発生時の身の安全確保や避難誘導の手順を訓練し有事に備える事が出来る。	①緑の恵「消防計画書・防災計画書」の研修会を開催する。（職員を対象に春・秋の2回行う） ②地震・火災発生想定の実施（6月・11月）
認知症利用者の行動や気持ちへの理解を深め適切なケアを行える事ができる。	①計画作成担当者は、家族や介護職員・看護師等と連携を図り居宅サービス計画を作成する。 ②認知症利用者のケース会議を実施。（個々の状態に合わせ適宜開催） ③認知症関連研修会に参加し理解を深める。
	上記の取組み期間を令和6年4月1日～令和7年3月31日までとする。

【設問の評価について】

○： はい
×： いいえ
△： わからない

設問			評価	意見等
自己評価の確認	1	事業所自己評価は、スタッフの意見を反映し実施されているか。	×	事業所自己評価シート設問において、回答者が1人少なかった。（1人分回答が反映されていない部分があったのは何故なのか）
	2	前回の改善目標に対して、具体的な取組みが行われていたか。	○	
	3	今回の自己評価に対する改善目標が1つ以上立てられているか。 (改善目標の内容について事業所から説明があったか。また、改善目標がない場合は自己評価内容と比べてそれが妥当であるか。)	○	
事業所の様子	4	事業所内や周囲の環境は清潔な状態が保たれているか。 (不快な臭い等はないか)	—	対面での運営推進会議が行われなかったため、評価の対象外とする。
	5	事業所内は居心地のよい空間になるよう工夫されているか。 (明るさ、装飾、生活音等に配慮がされているか。)	—	
	6	事業所は訪問しやすい雰囲気になっているか。 (外観的工夫、内部での対応等が適切であるか。)	—	
連携・共同	7	運営推進会議では、事業所の取組みが解りやすく説明されているか。 (資料等はわかりやすいものになっているか。)	○	令和4年度の運営推進会議の開催回数（書面含めて）について、4回分しか把握していない。
	8	運営推進会議で出た意見等を改善につなげているか。	×	書面開催の場合、議事録の他にアンケート等も併せて送付して、意見等募集してみてもどうか。
	9	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画しているか。	○	
	10	事業所のスタッフ及び利用者は、地域の行事やイベントに参加しているか。または、参加状況について報告等を受けたことがあるか。	—	コロナ対策としての不参加だったため、評価の対象外とする。
	11	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所は関わっているか。	—	
	12	事業所に対する意見や要望等を伝えやすい関係が構築されているか。	○	

【その他意見等】

- ・災害に関する訓練や研修に「ほとんどできていない」と回答している職員がいるが、休み等で参加できなかった場合は、後日回覧や改めて研修を行ってみてはどうか。
- ・運営推進会議には、参加しているが資料の内容のみで実際に活動内容や職員と関わった事がないので、評価する時に難しい面がある。